

鹿兒島市立中洲小学校

尾辻 孝徳

一 地区の概要
本地区小学校部会は、七十九校(会員九十三名)で組織し、鹿兒島市教育委員会の指導のもと、研究を推進し、教頭としての資質向上に努めている。

二 活動の状況

小学校部会の研修、研究の場としては、年間四回行われる市教頭研修会、他、ブロックごとの自主研修がある。十二に分かれたブロックでは、実践的な事例をもとに、教頭としての資質向上と円滑な学校運営をねらいとして、具体的方策を話し合っている。他校との情報交換の中で成果のあつた実践や方策を話し合うことにより、解決の糸口に繋がることも多い。
今年度は、コロナウイルス五類移行を受け、従来の学校生活を復活する上での留意点や業務改善の推進を図る上での工夫等を中心とした議論や情報交換をする機会が多く見られた。
どちらにもよりよいあり方を模索する上で、各校の取組を参考にすることは不可欠であり、学校間の繋がりが大切さを再確認することであつた。これらを含めた諸課題に係るブロックごと、研究結果や具体的な実践は、「研究紀要」としてまとめ、全ての会員で共有し、各校での学校運営の参考に

してもらおうと考えている。今後成果や課題を共有し、実践・研究を深め、教頭としての資質向上に向け、研鑽を重ねていきたい。

鹿兒島市立西紫原中学校

持留 義和

一 地区の概要

本地区中学校部会は、学校数四十一校、会員四十七名で組織されている。七ブロック編成で研究を推進している。鹿兒島市教育委員会の指導のもと、研修や実践を通して、教頭としての資質向上に努めている。

二 活動の状況

会員は、年四回実施される合同教頭研修会やブロック別教頭研修会、その他の研修会等で学んだことを各課の教育実践に生かし、課題の解決に向けて取り組んでいる。また、学校の連携を密にしている。横の連携を令和六年度の九州地区公立学校教頭研究会大会宮崎大会は、現地とオンライン配信のハイブリッド開催となり、たくさんの方々が参加することができた。
また、今年度も新しい研究が始まった。度々研究対し、実践を積み重ねていく。日々の研究に取組みたい。年度末には、各ブロックの研究成果と課題を「研究紀要」としてまとめる。

要」にまとめ、各学校の教育実践に生かしている。今後、各校での成果や課題を共有し、学校現場に役立つ実践的な研究を推進していきたい。

鹿兒島地区

いちき串木野市市来中学校 堂園 哲郎

一 地区の概要

令和六年度の本地区は、日置市・いちき串木野市・三島村・十島村で構成され、会員数は四十五名(小学校二十一校・中学校十校・義務教育学校二校)である。鹿兒島教育事務所及び、各市村教育委員会の指導を仰ぎながら、教頭としての資質向上に努めている。

二 活動の状況

地区教頭研修会は、予定通り、五月と十月の二回、事務所長講話をはじめ、講演や情報交換が行われた。五月の研修会では、「生徒力向上・授業改善」と「生徒指導」においてどのように行うか協議し、多くの教頭間で交流を図った。
十月の研修会では、「難しくなる保護者対応」や「大正大学名譽教授の小平正隆先生を講師に迎え、野田研修対生の具体策について町村を深めた。地区では、旧市運管された地域として、地区研

部長と各地域が連携し、それぞれ課題に向けた研究等を実践的に取り組んでいく。今後、各校の学校現場を意識した情報共有に努め、資質向上につなげていきたい。

南薩地区

枕崎市立桜山小学校 鯨坂 聡

一 地区の概要

本地区教頭会は、枕崎・指宿・南さつま・南九州の四市で構成され、小学校三十四校・中学校十五校・義務教育学校二校、会員数五百六十六名で組織されている。南九州市立松ヶ浦小が本年度で閉校となる。

二 活動の状況

本年度の地区教頭研修会は、本年二回開催された。五月のは、五月の研修会では、原田の「学力向上」及び「教師の授業力向上」の取組を取り組むか協議した。
十月の「学力向上」の取組ぶ力のある保護者対応、学業のそし「実践」に向けた実践基に、九つ協議を行った。実践基に、九つ協議を行った。実践基に、九つ協議を行った。

つま市が、これまでの活動の取組をまとめ、提言を行い、研究を深めてきた。今後、持続可能なよりよい活動の在り方を模索しながら、研究を深め、資質向上を図っていききたい。

北薩地区

長島町立鷹巣小学校 古川 勝

一 地区の概要

本地区教頭会は、川薩・出水の三市二町、小学校五十六校・中学校二十五校・義務教育学校二校、会員数八百八十八名で組織されている。北薩教育事務所及び各市町教育委員会の指導を仰ぎながら、実践・研究を推進し、教頭としての資質向上に努めている。

二 活動の状況

地区教頭総会を、五月に開催し、年間活動計画・研修計画等を確認することができた。
各市町教頭会では、研究や課題を踏まえたテーマを設定し、教頭としての実践的・主体的な活動を進めている。
各校は、阿久根市が、中学校及び市内市が、小学校をそれぞれに、提言を深

めることができた。県教頭研究大会での発表内容や各市町の研究グループの具体的な取組等を参考に、これからの時代を生きる児童生徒に必要な資質能力の育成をめざし、日々の教育活動を行っている。

### 始良・伊佐地区

湧水町立吉松小学校  
櫻木 俊郎

### 一 地区の概要

本地区は三市一町で構成され、小学校七十一校、中学校二十二校からなり、会員数百一人で組織している。始良・伊佐教育事務所及び各市町教育委員会の指導を仰ぎ、教頭としての資質向上を目指して、日々研修に取り組んでいる。

### 二 活動の状況

地区教頭研修会は、五月と九月の二回開催されている。五月の二回開催では、所長講話及び各課指導・講演のほか「学習者主体の授業」の実現に向けた「学びの羅針盤」の活用をテーマにしたグループディスカッションを基に各市町教委指導主任を交え、研究協議に取り組み、研修を深めることができた。

九月の研修会では、所長講話及び各課指導・講演のほか「全国学力・学習状況調査」「児童生徒質問紙」を生かした「学習者主体の授業づくり」をテーマに各市町教委指導主任を交え、研究協議を行った。また、各市町教頭会にお

いても、各市町の課題解決や県教頭研究大会の提言に向けた協議を行い、研究を深めている。今後も、各市町や各校での研究の成果や課題を共有し、実践・研修を更に深め、教頭としての資質向上を目指し、研究を重ねていきたい。

### 大隅地区

鹿屋市立花岡小学校  
西田 成子

### 一 地区の概要

本地区教頭会は、四市五町の小学校八十五校、中学校三十一校、義務教育学校一校、会員数二百二十一名で組織されている。大隅教育事務所及び各市町教育委員会の指導を仰ぎ、教頭としての資質向上に日々努めている。

### 二 活動の状況

地区教頭研修会は、五月と九月の二回開催された。五月は、所長講話・各課の指導後、県人権同和教育課の牧野田弘一先生による「人権同和教育を根っこに据えて」という貴重な講演を聴くことができた。九月は、所長講話で前期を振り返り、後期へつなげるための教頭としての役割を再確認することができた。また「学習者主体の授業づくり」「不登校の改善」等についてグループ協議を行い、各校の取組や教頭のよい関わり方について情報交換を行うことができた。各市町教頭会においても、各研修部長を中心に、研究

テーマに基づき、課題解決に向けた実践を進めている。県教頭研究大会では、志布志市、鹿屋市が貴重な提言を行った。本年度の各市町における研修の成果と課題を共有し、更に実践・研修を深め、資質向上をめざして研鑽に努めたい。

### 熊毛地区

屋久島町立宮浦小学校  
永田 洋一

### 一 地区の概要

本地区教頭会は、一市三町からなり、小学校三十四校、中学校七校の会員四十名で組織されている。熊毛教育事務所をはじめ、各市町教育委員会の指導を仰ぎながら、教頭としての資質向上をめざし、日々研修に努めている。

### 二 活動の状況

令和六年度は、西之表市で二回にわたり地区教頭研修会が開催された。いずれの研修会でも、県・地区の教育重点施策に係る指導・講話が行われた。第二回の研修会では、県教育庁特別支援教育課 萩之内 靖 課長が「特別支援教育の現状と本県の取組」と題して講話を行い、多くの学びを得た。また、県教頭会研究大会では、南種子町教頭会が「南種子町のよさを生かした学校教育の充実を目指して」と題し、教職員の専門性に関する課題解決について提言を行った。来年度は、第三分科会において屋久島町教頭会が「教育

環境整備の課題と展望」について、屋久島型ESGの実践事例を基に提言発表を行う予定であり、現在、町教頭研修会等で準備を進めている。今後も、成果や課題を共有し、会員相互の資質向上をめざし、研鑽に努めたい。

### 大島地区

奄美市立金久中学校  
河野 克純

### 一 地区の概要

本地区教頭会は、奄美群島の一市九町二村で、小学校八十一校、中学校四十五校、会員百二人で組織している。大島教育事務所及び各市町村教育委員会の指導を仰ぎながら、教頭としての資質向上を目指して日々研修に取り組んでいる。

### 二 活動の状況

地区教頭研修会は、五月と九月の年二回開催され、事務所長講話をはじめ、各課から指導が行われた。また、講師を招聘して行われる講演では、「魅力ある学校づくり」や「学校E」について、具体的に指導いただき、多くの実践的な学びを得た。さらに九月の研修会後には、五年ぶりに情報交換会も開催。当日の講師や大島教育事務所の先生方とともに、地区教頭会員が一同に介して親睦を深められた。本地区教頭会は、市町村ごとの活動が中心であり、今年度の県教頭研究大会では、奄美市笠利地区、龍郷町、和泊町・知名町の各教頭会が、大島地区を代表して、これまでの実践等をもとにして提言発表を行った。なお、本地区教頭会では、今

年度初めて、Microsoft Teamsで「大島地区教頭会」チームを立ち上げ、地区内の教頭会員が情報共有や情報交換をスムーズに行えるようにした。教頭会事務の業務改善にもなった。今後も本地区教頭会により実践的な研究を継続しながら、教頭としての資質向上に努めていきたい。